

# 「つながりをたやさない」 「コロナ禍での緊急支援活動」



企業等から提供された食品類を無償で配布するフードパントリー活動(横浜市内にて)

世界規模で猛威をふるい、国内でも令和2年当初に1例目の感染が確認された新型コロナウイルス感染症。医療現場では、今なお生命の危機に直面する救急医療体制の確保に喫緊の対応が行われ、人と人が接する福祉の分野でも、介護を必要とされる方々や休職等により生活に困窮されている方々、日常生活に変化を余儀なくされる子どもたちなど、さまざまなケースでの支援活動が急務となっています。いま、人と人との社会的・物理的な距離を保つことが求められています。励みや応援、支援や感謝など、人と人が支え合うための心の距離に制限はありません。共同募金会では、「つながりをたやさない社会づくり」を昨年引き続き全国共通テーマに掲げて、ウイルス感染の早期収束を願い、皆さまとともに直近の課題へ取り組んでまいります。

## 「赤い羽根 新型コロナウイルス感染下の福祉活動応援全国キャンペーン」を展開しています！

令和2年3月2日から全国の小学校、中学校、高校などが臨時休校となったことを受けて、共同募金会ではコロナ禍で困りごとを抱える家庭の子どもたちと家族を支援するために、赤い羽根・全国キャンペーンを開始しました。神奈川県共同募金会でも、全国キャンペーンの趣旨のもとに、子どもの声を電

話で受けとめるチャイルドライン活動や、孤食となる子どもたちへの見守り・配食活動、生活困窮世帯へ食支援を行うフードバンク活動などへ緊急配分を実施してきましたが、今なおウイルス感染の収束が見通せない状況下で、令和3年度も新たなフードバンクの立ち上げやDV被害者への支援活動など、コロナ禍で一層の支援を必要とする方々へのボランティア活動へ、継続して緊急配分を行っています。

## 「食」を中心とした物資による緊急支援事業を展開しています！

共同募金会では、コロナ禍で収入が途絶えたり収入源となったご家庭や、食支援が必要な子どもたちを中心に、令和2年3月から企業や個人の方々から寄せられる食糧等の生活支援物資による緊急支援事業を継続しています。平成29年度から毎年、各企業の株主優待品を多数寄贈していただいている株式会社日本カストディ銀行(東京都中央区)より、昨年3月にコロナ禍での「食」の支援事業にご賛同いただき、現在、食品類(米、レトルト食品、飲料)を中心とした優待品を定期的に提供(写真)していただき、社会福祉協議会やNPOと連携して、食品を無償で提供するフードパントリー活動(写真)等を通じて、コロナ禍で生活に困窮されている方々へ直ちにお配りしています。

また、クリスマスシーズンに、子どもが笑顔でいられるようにと、フードパントリー向けの子どものお菓子(クリスマスブーツ)をたくさんお寄せいただくなど、年間を通じて心あたたまる善意が共同募金会に寄せられています。

## 児童養護施設や母子生活支援施設等への生活支援事業を展開しています！

児童福祉施設で集団生活している子どもたちも、学校の臨時休業にはじまり、オンライン授業への対応など、日常生活や学習環境の変化を余儀なくされています。

令和2年度は、一般財団法人アズビル山武財団(藤沢市)から、県内35カ所の児童福祉施設への教育支援を目的としたご寄付をいただき、オンライン学習用タブレットや学習室のパーティション(写真)等を整備することができました。

また、全国共済神奈川県生活協同組合(横浜市中区)からは、県内9カ所の母子生活支援施設で生活するお母さんと子どもたちを支援するためのご寄付をいただき、親子が笑顔で年始を迎えられるように、年越しそばやおせち料理等の季節感のある食支援を行うことができました。

令和3年度も県内の遊技業界が社会貢献活動の一環として設立された神奈川福



緊急事態宣言が発出される中、最小人員で定期的な生活支援物資の搬出を行う日本カストディ銀行のスタッフ

## 福祉医療病院等で医療に 従事されている方々を 応援しています！

共同募金会では、令和2年4月から神



集団生活をしている児童福祉施設で急きょウイルス感染防止用に購入した学習室のパーティション

奈川県医療福祉施設協同組合(横浜市神奈川区)と連携して、ウイルス感染者の対応をはじめ、生計が困難な方々へ無料・低額で診療を行う福祉医療病院等の従事者の方々に応援しています。

令和2年度は、年度当初に入手が困難であったフェイスシールドなどを多数寄贈してくださった方や、ウイルス感染防護服の購入資金へご寄付をくださった方など、お一人おひとりの大切な思いを医療現場へお届けさせていただきました。企業からは商品による支援も多数いただき、ビバリーグリーンラボラトリーズ株式会社(東京都港区)からは、医療現場で消毒液の使用頻度が多いことを受けて、独自に開発した抗菌ハンドクリームを、社員からの応援メッセージとともに県内35カ所の福祉医療病院へ寄贈していただきました。

また、株式会社ファンケル(横浜市中区)では、医療従事者の毎日の健康管理に向けて、免疫機能を維持するために開発されたサプリメントを、関東1都3県を中心とした44カ所の福祉医療病院へ、お客様からのメッセージとともに寄贈していただくなど、さまざまな分野で医療従事者にエールを贈る運動が展開されている中、共同募金会でも敬意と感謝の気持ちを含めて医療や福祉現場スタッフを応援しています。

あなたと私は、赤い羽根でつながっている。

**赤い羽根共同募金**

令和3年度の全国版共同募金ポスター